

# 医事委員長 小野先生よりの注意書



## 射撃と薬物 ドーピングへの注意と副作用について

1、ドーピングには競技外検査と協議会検査があります。両者には多少の違いがあります。協議外検査は試合前の待機中や参加合宿中に行われる検査でこれは常時禁止薬を調べます。それに対し競技会検査は試合直後に行われる検査で以下の S6~S9 があります。常時禁止薬は確信犯的薬物が多く、いずれドーピング講習会でお話します。今回は試合前に「うっかり」をしないように話を進めてみます。

### S6、興奮剤

- 1、アンフェタミン、コカインなど…覚醒剤や麻薬…論外ですね。
- 2、特定物質 市販薬などに多く使用されうっかりドーピングに最も多いものです。  
エフェドリン、メチルエフェドリン、プロベネシドなどでかぜ薬、漢方薬に多く含まれます。

### S7、麻薬

モルヒネ、ペンタドシン、コカイン…言うまでもありません

### S8、カンナビド

マリファナ、ハシシ…いずれも違反です。

### S9、糖質コルチコイド

ステロイドです。注射、内服、坐薬としての使用禁止

アレルギー性鼻炎の点鼻薬や喘息の吸入、結膜炎の点眼、口内炎への使用、痔への軟膏は OK です。皮膚に広範囲に塗ると違反になる恐れがあります。

その他ライフル射撃ではβ遮断薬は常時禁止です。高血圧の選手はご注意ください。

それから漢方は絶対に使用しないでください。外国製のサプリも危険です。射撃が上手になる薬はありません。ただ日ラの眼科スポーツドクターの枝川先生は点眼薬のサンコバは良いと言っておられました。ビタミン B12 で眼精疲労に有効です。処方薬ですので医療機関受診が必要です（私も使用していました）。

不必要な薬は試合の2週間前からは中止してください。使用中の薬品がどうしても可、不可が不明の方は私の携帯番号 090-1076-0977 に SMS でご連絡ください。一日でお調べし返答いたします。

## 2、副作用

薬そのものはドーピング違反ではないものの使用すると射撃に悪影響のある薬品はけっこうあります。鎮痛解熱剤（ロキソニンなど）では霧視…かすみ目です。射撃には致命傷です。また、PL などの感冒薬には含まれるカフェインのため動悸が出る時があります。また、アレルギーの薬では同様にかすみ目や焦点の不備が生じます。とにかく薬はどんな不測の副作用が出るかわかりません。なるべく使用しないように。コーヒーのカフェイン、お茶のテオフィリンは動悸の心配と共に瞳孔が開き（散瞳）見え方が悪くなる恐れがあります。

## 3、最後に月経周期変更に使用する混合ホルモン剤はドーピング違反とはなりません。

多くの一流女性アスリートが使用していますが、視力に対してどう影響するか私にはわかりません。月経困難症や生理痛がひどい選手は一度婦人科を受診して処方、指導して頂き練習時に試してみてください。問題がなければ大事な試合の時にご使用ください。

## 18 抗真菌薬・抗ウイルス薬

**処方薬** イトリンゾール (イトラコナゾール)  
イナビル吸入粉末剤 (ラニミビルオクタン酸エステル水和物)  
クラビット (レボフロキサシム水和物)  
クラリス (クラリスロマイシン)  
ケフアール (セファクロー)  
サワシリン (アモキシシリン水和物)  
シスロマック (アシクロマイシン水和物)  
ソラックス (アシクロビル)  
タミフル (オセルタミビルリン酸塩)  
バルトレックス (バレンシクロビル塩酸塩)  
ミノマイシン (ミノサイクリン塩酸塩)  
リンゼサ (ザナミビル水和物)  
エンベシドL  
メイトリート

**市販薬**

## 19 ビタミン・滋養強壮

・ビタミン剤：各種ビタミンは禁止されていない。しかし、ビタミン類に種々の強壮薬などを配合した製剤、とくに外国製品には禁止物質を含むものが多い。医薬品の場合には内容を明記してあるが、医薬品以外には使用しないほうが賢明である。

・滋養強壮保健薬：医薬品にも男性ホルモンやエストロキネーネなどの禁止物質やモニター物質を含むものがある。漢方を含むものや外国製品も組成不明が多く、禁止物質陽性となることが多い。使用しないほうが安全。

## 20 鉄欠乏性貧血 (鉄剤)

**処方薬** フェルムカプセル (フマル酸第一鉄)  
フェロ・グアラテメット錠 (硫酸鉄)  
フェロミア (クエン酸第一鉄ナトリウム)  
ファイチ  
ハスニック  
マスチザン錠

**市販薬**

## 21 気管支炎・気管支喘息

**処方薬** アイミロールエアゾール (サルブタモール硫酸塩)  
アスマネックス吸入器 (メキサソフランカルボン酸エステル)  
アドリア (サルメテロールキナホリン酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル)  
アトバントエロン (イプラントロピウム臭化水合物)  
オーキスタービュヘイラー (ホルモテロールフマル酸塩水和物)  
オノン (フラニルカスト水合物)  
オルベスコインヘンラー (シクレソニド)  
キプレス (モンテルカストナトリウム)  
キュバルールエアゾール (ベグロメタゾンプロピオン酸エステル)  
キュバルールインヘンラー (サルブタモール硫酸塩)  
シムビコート タービュヘイラー (ホルモテロールフマル酸塩水和物、ブテンニド)  
シングレア (モンテルカストナトリウム)  
セラベント (サルメテロールキナホリン酸塩)  
テオドール (テオフィリン)  
バルミコート (ブテンニド)  
フルタイド (フルチカゾンプロピオン酸エステル)  
フルチフォーラムエアゾール (ホルモテロールフマル酸塩水和物、フルチカゾンプロピオン酸エステル)  
ヘネトリン吸入液 (サルブタモール硫酸塩)

**注意**

- ・ベータ2作用薬は通常禁止物質であるが、サルブタモール、ホルモテロール、サルメテロールの吸入は添付文書の用法・用量に従う限り使用可能。
- ・糖質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、喘息の疾患に対する吸入による局所使用は可能。

## 22 高血圧

**処方薬** アジルバ錠 (アジルサルタン)  
アタラート (ニフェジピン)  
アムロジン (アムロジピンベシル酸塩)  
オルメテックOD錠 (オルメサルタンメトキシミル)  
プロプレス錠 (カンサルタンシレキセチル)  
ニューロタン錠 (ロサルタンカリウム)  
ニルバスタク (アムロジピンベシル酸塩)

**注意**

- ・利尿薬との配合薬は禁止。
- ・ベータ遮断薬は競技種目により禁止。

## 23 痛風・高尿酸血症

**処方薬** ウラリット (クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物)  
コルヒチン錠 (コルヒチン)  
ザイリック錠 (アロプリノール)  
フェブリック錠 (フェブキソスタット)  
ユリノーム錠 (ベンズプロマロン)  
プロベネシドは禁止。

**注意**

## 24 糖尿病

**処方薬** 経口血糖降下薬 (SGLT2阻害薬を含む) およびGLP1受容体作用薬は使用可能。

**注意** インスリンは禁止。

## 25 ワクチン

**処方薬** インフルエンザHAワクチン  
サーバリックス (子宮頸がん予防ワクチン)

**注意**

## 26 月経関連 (女性ホルモン薬)

**処方薬** トリキュラー錠21、28 (エチニルエストラジオール・レボノルゲステレル)  
マーベロン21、28 (エチニルエストラジオール・テングステレル)  
ルナベル配合錠LD、UD (エチニルエストラジオール・ノルエチンステロン)  
ヤーヌ配合錠 (エチニルエストラジオール・ドロスピレノン)  
ノルレボ錠 (レボノルゲステレル)  
デュファラストン錠 (ジドロゲステロン)  
フレパール配合錠 (ルルゲステレン・エチニルエストラジオール)  
月経周期の変更に用いられる混合ホルモンは使用可能。

**注意**

## 27 消毒薬

**処方薬** イソジン (ホビドンヨード)  
オスバン (ベンザルコニウム塩化物)  
ヒビチン (クロルヘキシジングルコン酸塩)  
オキシドール  
マキロンS

**市販薬**

本リーフレットは日本体育協会のホームページよりダウンロードできます。アンチ・ドーピング情報と併せてご確認ください。  
HPはこちら⇒ <http://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid/537/Default.aspx>



2018年4月1日 日本体育協会から日本スポーツ協会へ変更します



公益財団法人 日本体育協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館  
TEL.03-3481-2240

# アンチ・ドーピング 使用可能薬リスト

2018年版 (有効期間：2018年1月1日～2018年12月31日)

- 本リストには、競技会時を含めいつでも安心して使用できる薬をあげました (競技会外検査では競技会検査禁止物質の一部を検査)。
- 禁止物質でも申請手続きにより「治療使用特例 (TUE)」を受けられる場合があります。また使用量が少なく尿中濃度が低ければ使える薬などもあります。そのような使用条件に制限がある薬はあげておりません。
- \* 特定競技において使用が禁止される薬もあります。各競技の禁止物質リストを参照し注意してください。
- 本リストは例示であり、他にも多くの使用可能な医薬品があります。
- ジェネリック医薬品 (後発医薬品) は、先発医薬品と同等の有効成分を含有しておりますので、基本的には使用可能です。
- 本リストは、世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) の禁止表国際基準 (1月1日発効) に伴い、毎年改定されます。

### 〈凡例〉

- 処方薬** : 医師の処方が必要な薬
- 市販薬** : 処方せんなしで買える薬
- ( ) 内は成分名

市販薬は名前全体が**完全に一致**することを確かめてください。ほとんど同じ名前でも頭に「新」が、終わりに「錠」や「会社名」あるいは「アルファベット」がついているだけで組成が異なる場合があります。

複数製品は「」内を接尾語、「」で区切って示しています。

スポーツ「く」



スポーツ振興くじ助成事業

### 1 熱・痛み（鎮痛・解熱・抗炎症薬・片頭痛薬）

**処方薬** アスピリン  
イミグラン  
インテパン  
SG配合顆粒  
カロナール  
セロックス錠  
フルフェン  
ボルトレン  
リリカパブセル  
ロキソニン  
ネオバスタノーゲン  
パファリンA  
フェリア  
ボルタレン  
ロキソニン

**市販薬** アセトaminofen  
イブプロフェン  
ロキソニン  
ボルトレン  
リリカパブセル  
ロキソニン  
ネオバスタノーゲン  
パファリンA  
フェリア  
ボルタレン  
ロキソニン

**注意** 市販薬には禁禁物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多く、製品名全体が**完全に一致**することを確かめる。  
• かつての特効薬はないので、症状にあわせて**1, 4, 10**などの薬を選んで使用した方が有効な場合もある。

### 2 筋肉の痛み・こわばり（中枢性筋弛緩薬）

**処方薬** テルネリン  
ミオナール

### 3 かげ（総合感冒薬）

**処方薬** PL配合顆粒  
ペレックス配合顆粒  
新エスタック「W」  
新ルルエース  
パフロンS  
パフロンS  
新ルルエース

**市販薬** PL配合顆粒  
ペレックス配合顆粒  
新エスタック「W」  
新ルルエース  
パフロンS  
パフロンS  
新ルルエース

**注意** 市販薬には禁禁物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多く、製品名全体が**完全に一致**することを確かめる。  
• かつての特効薬はないので、症状にあわせて**1, 4, 10**などの薬を選んで使用した方が有効な場合もある。

### 4 せき・たん（鎮咳去痰薬）

**処方薬** アストミン  
アスタリール  
ムコダイン  
メジコン  
新コンタックせき止め錠  
タイムコールド去たんカプセル

**市販薬** アストミン  
アスタリール  
ムコダイン  
メジコン  
新コンタックせき止め錠  
タイムコールド去たんカプセル

**注意** 市販薬には禁禁物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

### 5 じんましん・アレルギー・花粉症（アレルギー用薬）

**処方薬** アレグラ  
アレジオン  
アレロック  
イソターゲル  
ザイザル  
テザレックス錠  
ピラリア錠  
ボラミン  
アイリスAGガード  
アレグラFX  
コンタック600ファースト  
スカイナール錠

**市販薬** アレグラ  
アレジオン  
アレロック  
イソターゲル  
ザイザル  
テザレックス錠  
ピラリア錠  
ボラミン  
アイリスAGガード  
アレグラFX  
コンタック600ファースト  
スカイナール錠

**注意** 市販薬には禁禁物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

### 6 胃炎・胃潰瘍

**処方薬** アルサルミン  
ガスター  
セルベックス  
タケキャブ錠  
ネキシウムカプセル  
バリエツ錠  
プロチカジン  
マロロックス錠  
ムコスタ  
アシノンZ  
ガスター10

**市販薬** アルサルミン  
ガスター  
セルベックス  
タケキャブ錠  
ネキシウムカプセル  
バリエツ錠  
プロチカジン  
マロロックス錠  
ムコスタ  
アシノンZ  
ガスター10

**注意** 市販薬には禁禁物質（ストリキニーネ）が含まれているものがある。

### 7 腹痛（鎮痙・鎮痛薬）

**処方薬** プスコパン錠  
コランデルムA顆粒  
サクロンQ

### 8 消化不良・食べ過ぎ（消化酵素配合薬）

**処方薬** タフマックE  
ベリチーム配合顆粒  
ポリトーゼ  
エビオス錠  
バンシロンG  
パンラックミン錠

**市販薬** タフマックE  
ベリチーム配合顆粒  
ポリトーゼ  
エビオス錠  
バンシロンG  
パンラックミン錠

**注意** 市販薬には禁禁物質（指定医薬部外品）が含まれているものがある。

### 9 便秘

**処方薬** アミティーザカプセル  
酸化マグネシウム  
新レシカルボン坐剤  
テレミンソフト坐薬  
フルゼニド錠  
ラキソベロン  
コーラック

**市販薬** アミティーザカプセル  
酸化マグネシウム  
新レシカルボン坐剤  
テレミンソフト坐薬  
フルゼニド錠  
ラキソベロン  
コーラック

### 10 整腸薬・下痢止め

**処方薬** タンナルビン  
ピオフェルミンR  
ミヤBM  
ラックビー  
ロベミン  
ストツパ下痢止めEX  
ロベラマックサット

**市販薬** タンナルビン  
ピオフェルミンR  
ミヤBM  
ラックビー  
ロベミン  
ストツパ下痢止めEX  
ロベラマックサット

### 11 吐き気・乗り物酔い

**処方薬** トラベルミン配合錠  
ナウゼリン  
プリンペラン  
センバア  
マイトラベル錠

**市販薬** トラベルミン配合錠  
ナウゼリン  
プリンペラン  
センバア  
マイトラベル錠

### 12 不眠・イライラ（催眠鎮静薬）

**処方薬** アモバン錠  
セルシン  
ハルシオン錠  
ベルソラム錠  
マイスリー錠  
ロゼレム錠

**市販薬** アモバン錠  
セルシン  
ハルシオン錠  
ベルソラム錠  
マイスリー錠  
ロゼレム錠

### 13 痔疾用薬

**市販薬** ドリエル  
**注意** 権限鎮静薬の海外への持ち出し、持ち込みには厳重な規制がある。

**処方薬** サークナッテン配合錠  
ヘモクロナカプセル  
ボステリリザン  
内服ボラキノーレルEP  
ボラキノーレルM  
ボラキノーレルL

**市販薬** サークナッテン配合錠  
ヘモクロナカプセル  
ボステリリザン  
内服ボラキノーレルEP  
ボラキノーレルM  
ボラキノーレルL

**注意** 経直腸による精質コルチコイドの使用（注入軟膏および坐剤）は禁止されるが、肛門に塗布する精質コルチコイドを含む痔疾治療の軟膏は、使用可能。

### 14 鼻つまり（耳鼻用薬）

**処方薬** インターール点鼻液  
サジテン点鼻液  
プリピナ液  
エーゼン  
ハプロン点鼻クイック

**市販薬** インターール点鼻液  
サジテン点鼻液  
プリピナ液  
エーゼン  
ハプロン点鼻クイック

**注意** 精質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、耳・鼻の疾患に対する局所用は可能。  
• 血管収縮薬であるナファゾリンなどの点鼻は、用法・用量に従う限り使用可能。

### 15 目薬（眼科用薬）

**処方薬** 抗菌薬・ビタミン類  
感染症  
サンテ抗菌新目薬  
ロート抗菌目薬EX  
ビタミン類・殺れ目  
サンテ40プラス  
ロートゴールド40  
人工涙液・ドライアイ  
スマイルコンタクトピュア  
ソフトサンティア

**市販薬** 抗菌薬・ビタミン類  
サンテ抗菌新目薬  
ロート抗菌目薬EX  
ビタミン類・殺れ目  
サンテ40プラス  
ロートゴールド40  
人工涙液・ドライアイ  
スマイルコンタクトピュア  
ソフトサンティア

**注意** 抗菌薬・ビタミン類・人工涙液の処方薬は使用可能。  
アイボンd  
フレッシュアイAG  
精質コルチコイドの全身的使用は禁止されるが、目の疾患に対する局所用は可能。

### 16 にきび（尋常性ざ瘡治療薬）

**処方薬** アクアチム  
スタデルム  
ディフェリンゲル  
ベピオゲル  
エパデュス  
オロナインH軟膏  
テラマイシン軟膏a

**市販薬** アクアチム  
スタデルム  
ディフェリンゲル  
ベピオゲル  
エパデュス  
オロナインH軟膏  
テラマイシン軟膏a

### 17 うがい薬・口腔内殺菌薬・口内炎薬

**処方薬** アフタッチ口腔用貼付剤  
デキサルチン口腔用軟膏  
SPトローチ  
ペレックストローチ

**市販薬** アフタッチ口腔用貼付剤  
デキサルチン口腔用軟膏  
SPトローチ  
ペレックストローチ

**注意** 糖質コルチコイドの全身的使用は禁止だが、口腔内の疾患に対する局所用は可能。